

学童および学生の体型に関する意識調査

1. 標準体型、希望体型、異性の標準体型について (分担研究：小児肥満予防対策に関する研究)

衣笠昭彦^{*}，衣笠紀玖子^{**}

要約：「同性の標準体型」については男女とも年齢に関係なく約80%の者が肥満度0%を標準体型として選んだ。「希望体型」は男女で大きく異なり、男子では「標準体型」の場合とほぼ同じ70%の者が肥満度0%の体型を選んだのに対し、女性では逆に約70%の者が肥満度-10%の体型を希望体型とした。「異性の標準体型」については男女とも同性の標準体型よりも「やせ型」志向が強かったが、この傾向は女性でより顕著であった。

見出し語：学童、学生、標準体型、希望体型、異性の標準体型、男女差

〔はじめに〕

肥満の原因の一つにボディ・イメージの障害があることは従来からよく知られている。一方、わが国の肥満児の頻度は男女とも年々増加しているが、小学校低学年では男女間で差はないが、小学校高学年から中学生になると男子にくらべ女子の肥満頻度は急激に低下する。そればかりか、近年女子の「やせ願望」が強くなり、拒食症や食行動異常などの患者も増加している。このような背景に標準体型に関する意識あるいはボディ・イメージにおける男女差が関係しているのではないかとされる。そこで、京都市内の小学校2年生から大学3年生までの男女を対象に体型に関する意識

調査を実施した。

〔対 象〕

F 小学校：2年生80人（男子40人 / 女子40人）、3年生109人（55 / 54）、4年生105人（60 / 45）、5年生86人（40 / 46）、6年生105人（54 / 51）。

D 中学校：1年生302人（145/157）、2年生267人（123/144）、3年生283人（129/154）。

D 高校：1年生291人（148/143）、2年生243人（120/123）、3年生321人（162/159）。

B 大学：1回生55人（30/25）、2回生38人（20/18）、3回生69人（28/41）。

以上の生徒および学生を対象にして以下に述べる方法で調査した。

* 京都府立医科大学小児科 (Dept. of Pediatrics, Kyoto Prefectural University of Medicine)

** 京都女子大学児童保健学 (Dept. of Child Health, Kyoto Women's University)

【方 法】

調査は以前われわれが作製した体型図¹⁾に基づいて図1に示す内容で実施した。すなわち、1.年齢、2.性別、3.学年、4.身長、5.体重、の記載を求めると同時に、6.「標準と思う体型」、7.「希望する体型」、8.「現在の自分の体型」、9.異性の「標準と思う体型」について図の①～⑥の6段階の体型図から選択してもらった。

なお①～⑥の各体型はそれぞれ以下の肥満度に相当する。①：肥満度-20%、②：肥満度-10%、③：肥満度0%、④：肥満度+20%、⑤：肥満度+30%、⑥：肥満度+50%。

【結 果】

結果は表1にまとめた。この中から今回は「標準体型」「希望する体型」「異性の標準体型」についてのみ検討を加えた。

1. 標準と思う体型：

「標準体型」に関する男女別・学年別の意識変化を図2にまとめた。男性では肥満度0%の③の体型を標準と考える者がすべての年齢群で約80%と高かった。一方、女子では肥満度-10%の②を標準体型とする者が小学・中学・高校生で約30%と男子と比べて比較的多くなっていた。

2. 希望する体型：

「希望体型」についての調査結果を図3にまとめた。上の「標準体型」に関する意識とは大いに異なる結果で、明らかに男女差が認められる。すなわち、男性の大多数が③（肥満度0%）を「希望体型」として選んだのに対し、女性では②（肥満度-10%）を「希望体型」として選ぶ者が多くなっていた。とくに中学生以上でこの傾向が顕著である。

3. 異性からみた「標準体型」：

異性からみた「標準体型」の推移を図4にまとめた。1.の同性の「標準体型」の分布にはほぼ類似するが、女性からみた男性の「標準体型」は女性全般で、男性からみた女性の「標準体型」は男子中学生～高校生において②を選ぶ割合が1.の同性の「標準体型」の場合よりも多くなっている点が注目される。

【考 察】

同性の標準体型については年齢に関係なく男女とも約80%の者が肥満度0%の③を選んでおり、標準体型意識については男女とも問題はないと思われた。一方、異性の標準体型については、女性からみた男性の標準体型で②を選んだ者が約30%に達し、また、男性からみた女性の標準体型は中学・高校生で②を選んだ者が30～40%に達していた。これらの結果は、同性の標準体型については正当な判断をしているのに反し、異性に対しては男女とも肥満度-10%の「やせ型」を「標準体型」と意識している割合が比較的高いといえる。

〔希望体型〕については、男女間で際立った差異が認められた（図3）。女子はすでに小学生から②を希望する例が③を希望する例を上回り、この傾向は中学・高校生で最も顕著になり、大学生にまで続いている。一方、男子では小学生の低学年で②の体型を希望する例が多かった。

今回の調査結果から、最近の中学生以上の女子に顕著にみられる「やせ願望」は女性自身に存在する「やせ型体型志向」に起因していると思われる。さらに、異性に対する「やせ型の標準体型意識」は女性の方が強いが（図4）、男性はあまり女性の体型意識に影響を受けずに大多数の者が

「希望体型」として③の標準体型を選んで(図3)。同じように、男性も女性の標準体型として「やせ型意識」を少し持っており(図4)、これに女性が過敏に反応し、強い「やせ願望」の出現の引き金になった可能性は否定できない。

今回、「本人の現在の体型」意識と調査表に記載された身長と体重から算出した「実際の体型」との相関については検討しなかったが、これは次

に検討すべき重要な課題と考えられ、その研究結果から学童および学生のボディ・イメージについて男女別の新しい知見が得られるものと期待される。

〔文 献〕

- 1) 衣笠紀玖子、衣笠昭彦、澤田 淳：幼児肥満の治療効果とその後の経過。小児保健研究53：46-53, 1994.

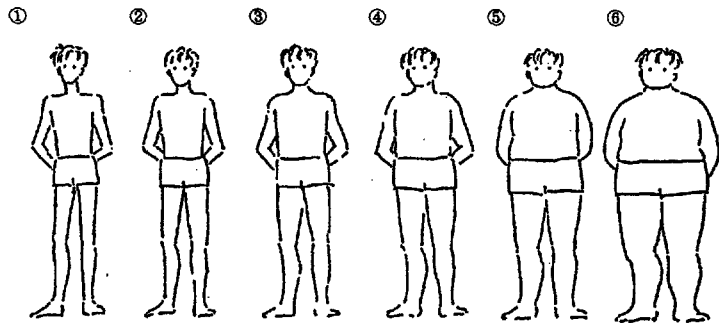
図1. 体型に関するアンケート調査

記入者：〔 歳， 男・女 〕〔大・高・中・小 年〕

*あなたの〔身長 cm, 体重 kg〕

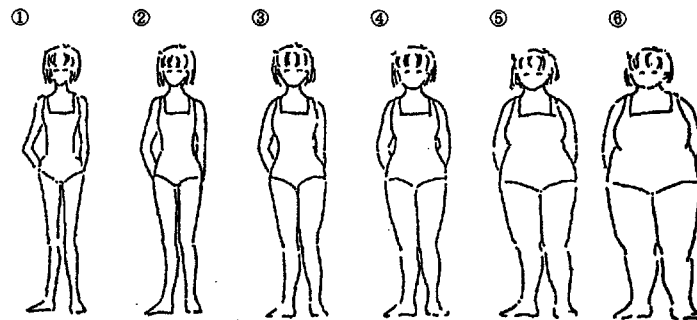
つぎのI, IIの質問に男性、女性ともに答えて下さい。

I 男性はA, B, Cのすべてを、女性はAだけを下の図の①～⑥から選んで表に記入して下さい。



	A: 標準 <small>ひょうじゆん</small> と思う体つき	B: 希望 <small>きぼう</small> する体つき	C: 現在の自分の体つき
男 性			
女 性			

II 男性はAだけを、女性はA, B, Cのすべてを下の図の①～⑥から選んで表に記入して下さい。



	A: 標準 <small>ひょうじゆん</small> と思う体つき	B: 希望 <small>きぼう</small> する体つき	C: 現在の自分の体つき
男 性			
女 性			

記入年月日 年 月 日

御協力ありがとうございました。

表1. 学童および学生の体型意識調査 (その1)

人数	小学校 2		3		4		5		6		中学校 1		2		3	
	男子 40	女子 40	男子 55	女子 54	男子 60	女子 45	男子 40	女子 46	男子 54	女子 51	男子 145	女子 157	男子 123	女子 144	男子 129	女子 154
同標準性体の型	① 5.0	② 15.0	③ 14.5	④ 18.5	⑤ 1.7	⑥ 2.2	① 7.5	② 23.9	③ 5.6	④ 29.4	⑤ 14.0	⑥ 25.5	① 8.9	② 23.6	③ 1.6	④ 0.6
	7.5	75.0	70.9	74.1	8.3	81.7	77.5	76.1	90.7	70.6	81.0	72.0	85.4	70.8	80.6	74.7
	20.0	5.0	12.7	7.4	8.3	60.0	12.5	3.7	3.5	2.5	0.7	0.7	4.1	3.5	7.8	1.9
			1.8				2.5						1.6			
無回答																
希望体型	① 7.5	② 10.0	③ 3.6	④ 9.3	⑤ 1.7	⑥ 6.8	① 2.5	② 2.2	③ 3.9	④ 3.9	⑤ 13.8	⑥ 65.6	① 0.8	② 3.5	③ 3.9	④ 1.9
	37.5	57.5	20.0	50.0	21.7	66.7	22.5	34.8	13.0	56.9	73.1	27.4	14.8	68.8	7.0	74.0
	40.0	32.5	58.2	35.2	68.3	24.4	62.5	60.9	74.1	39.2	11.0	2.5	69.9	24.3	61.2	21.4
	15.0		16.4	5.6	8.3		12.5	2.2	13.0				11.4		23.3	
			1.8													
無回答																
現在体型	① 7.5	② 7.5	③ 12.7	④ 5.6	⑤ 10.0	⑥ 20.0	① 12.5	② 10.9	③ 14.8	④ 3.9	⑤ 7.6	⑥ 1.9	① 7.3	② 4.2	③ 11.6	④ 1.9
	30.0	27.5	30.9	22.2	28.3	20.0	20.0	21.7	25.9	25.5	33.8	19.7	32.5	10.4	35.7	9.1
	2.5	32.5	41.8	46.3	33.3	42.2	32.5	28.3	18.5	39.2	28.3	38.9	36.6	55.6	24.0	39.6
	27.5	30.0	9.1	24.1	21.7	15.6	32.5	34.8	25.9	31.4	24.1	31.2	21.1	20.8	18.6	42.2
	30.0		5.5	1.9	5.0		2.5	4.3	14.8		4.8	6.4	1.6	2.8	5.4	1.9
											1.4	0.6	0.8	2.1	1.6	
無回答																
異標準性体の型	① 2.5	② 2.5	③ 1.8	④ 9.3	⑤ 1.7	⑥ 2.2	① 2.5	② 19.6	③ 14.8	④ 19.6	⑤ 30.3	⑥ 38.9	① 23.6	② 25.7	③ 23.3	④ 0.6
	35.0	20.0	34.5	75.9	41.7	35.6	27.5	78.3	75.9	80.4	57.2	56.7	69.1	70.1	66.7	31.8
	47.5	70.0	60.0	75.9	56.7	60.0	55.0	2.2	9.3		9.7	3.8	2.4	2.8	4.7	64.9
	10.0	5.0	3.6	5.6	1.9		15.0	2.2								0.6
				1.9												
無回答																
	7.5	2.5	7.4		1.7	2.2					2.8	0.6	3.3	0.7	1.6	1.9
													1.6	0.7	3.9	

(%)

表1. 学童および学生の体型意識調査 (その2)

人数	高校1		高校2		高校3		大学1		大学2		大学3	
	男子 148	女子 143	男子 120	女子 123	男子 162	女子 159	男子 30	女子 23	男子 20	女子 18	男子 28	女子 41
同標準 性体型 の型	① 0.7 ② 14.9 ③ 78.4 ④ 5.4 ⑤ 1.4 ⑥ 0.7 無回答 0.7	0.7 27.3 70.6 1.4 0.7	12.5 70.8 12.5 1.7 0.8	0.8 22.0 72.4 4.1 0.8	13.6 81.5 4.3 0.6	21.4 76.1 2.5	20.0 70.0 10.0	26.1 73.9	30.0 55.0 10.0 5.0	38.9 55.6 5.6	21.4 71.4 7.1	24.4 75.6
希望 体型 の型	① 0.7 ② 13.5 ③ 68.9 ④ 14.9 ⑤ 0.7 ⑥ 1.4 無回答 1.4	3.5 65.7 28.0 0.7 0.7	0.8 16.7 65.0 12.5 1.7 2.5 0.8	4.1 69.9 21.1 0.8	0.6 21.1 64.2 13.0 0.6	2.5 71.7 23.3 0.6	26.7 53.3 20.0	78.3 21.7	15.0 70.0 10.0 5.0	5.6 61.1 22.2 5.6	17.9 71.4 7.1 3.6	4.9 65.9 29.3
現在 体型 の型	① 11.5 ② 34.5 ③ 26.4 ④ 18.2 ⑤ 8.1 ⑥ 0.7 無回答 0.7	3.5 12.6 34.3 40.6 4.2	11.7 35.0 30.0 12.5 7.5 1.7 1.7	2.4 10.6 39.8 35.8 4.1 0.8	11.1 30.9 32.7 18.5 4.9 1.2 0.6	0.6 8.8 49.7 33.3 2.5 0.6 4.4	23.3 13.3 40.0 16.7 3.3 3.3	4.3 21.7 69.6 4.3	5.0 35.0 25.0 25.0 10.0	5.6 5.6 38.9 38.9 5.6	10.7 42.9 28.6 17.9	17.1 41.5 36.6 4.9
異標準 性体型 の型	① 0.7 ② 28.4 ③ 64.9 ④ 4.1 ⑤ 0.8 ⑥ 1.7 無回答 2.0	1.4 30.1 66.4	0.8 23.3 58.3 10.8 0.8 1.7 4.2	1.6 23.6 69.9 3.3	1.2 21.0 73.5 3.7 0.6	1.3 28.9 64.2 3.8	43.3 46.7 3.3	17.4 73.9 8.7	20.0 70.0	27.8 50.0 5.6	42.9 50.0 3.6 3.6	17.1 82.9

(%)

図2. 標準体型型についての男女別・学年別の意識変化

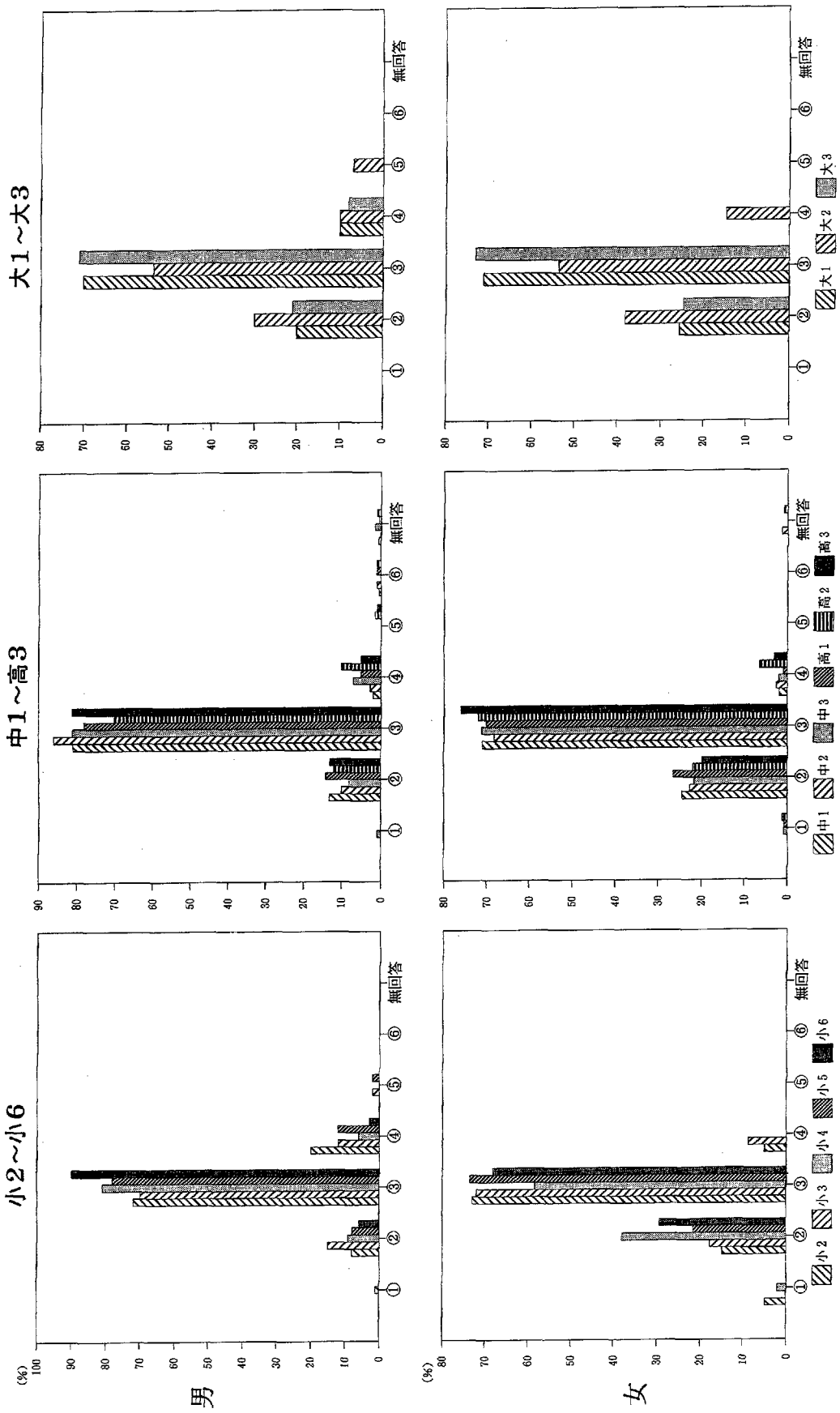


図3. 希望体型についての男女別・学年別の意識変化

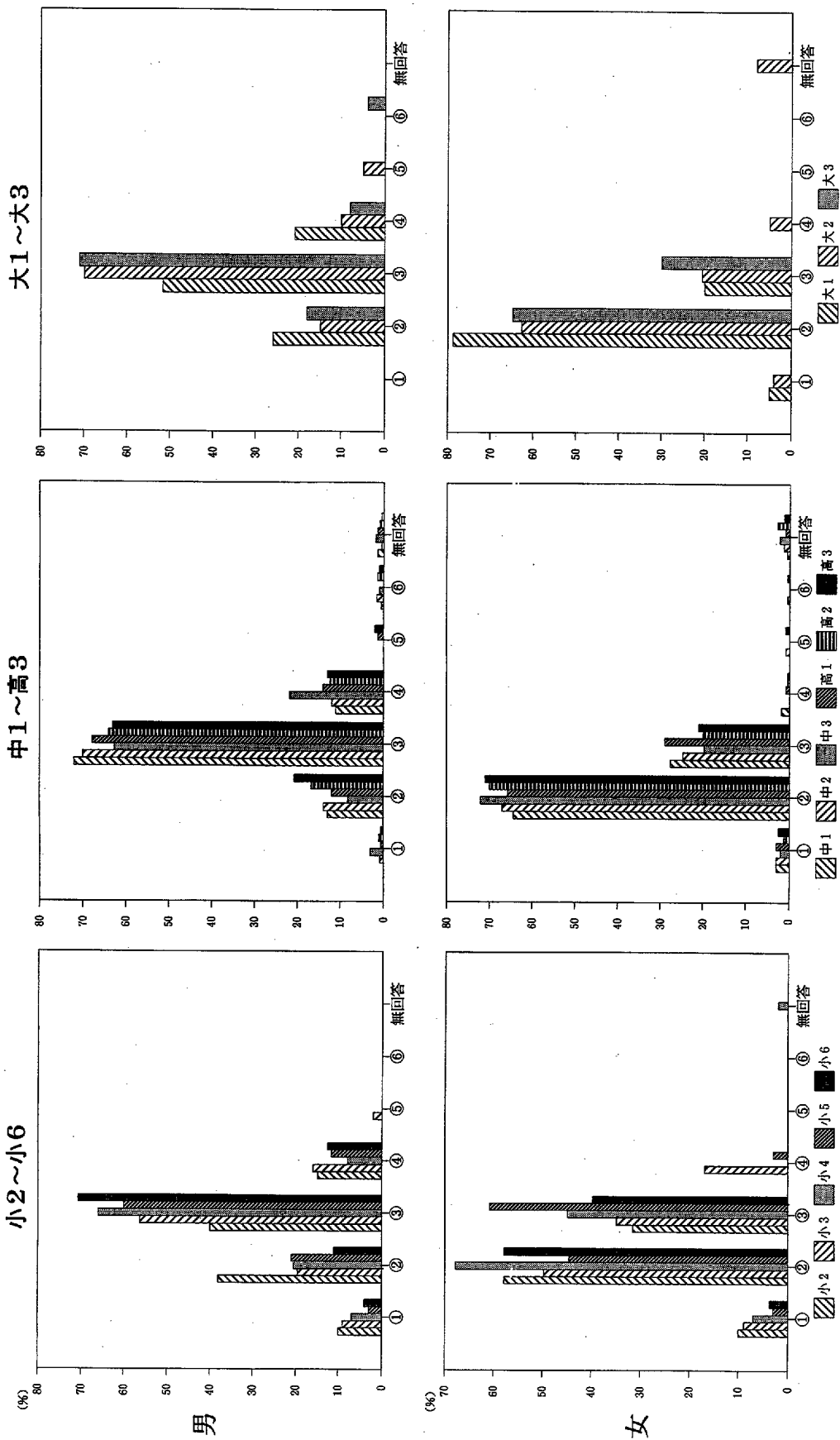
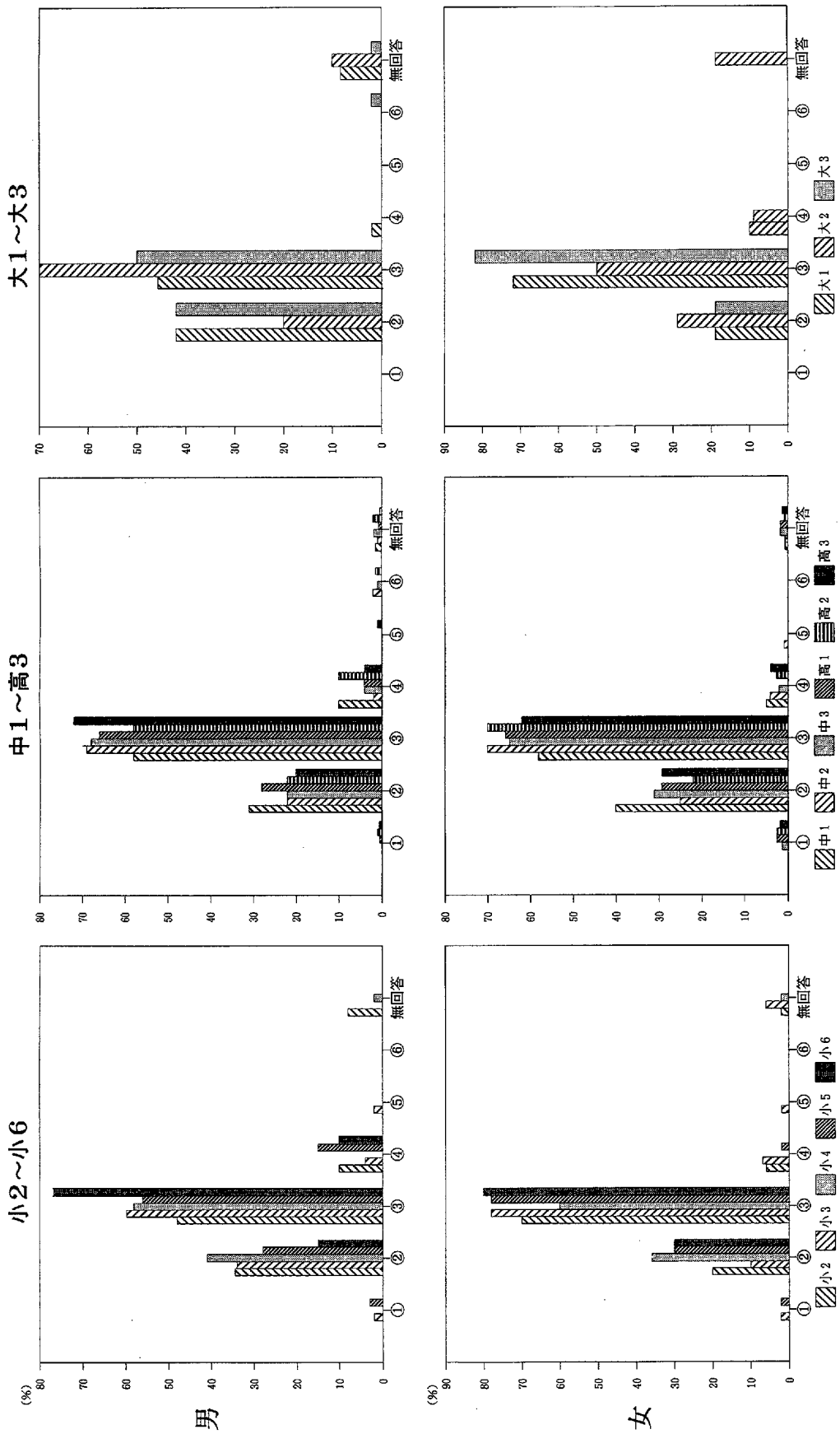
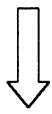


図4. 異性からみた標準体型についての男女別・学年別の意識変化





検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約:「同性の標準体型」については男女とも年齢に関係なく約 80%の者が肥満度 0%を標準体型として選んだ。「希望体型」は男女で大きく異なり、男子では「標準体型」の場合とほぼ同じ 70%の者が肥満度 0%の体型を選んだのに対し、女性では逆に約 70%の者が肥満度 - 10%の体型を希望体型とした。「異性の標準体型」については男女とも同性の標準体型よりも「やせ型」志向が強かったが、この傾向は女性でより顕著であった。